

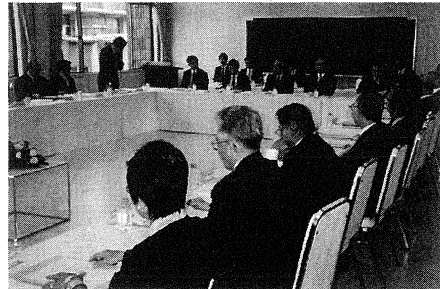
# 芸術系大学長と文化庁長官の懇談会を開催

文化庁芸術文化課

文化庁では、近年大学等の高等教育機関が教育や研究等の活動を通じて文化芸術の振興に果たす役割が増大していることを踏まえ、「芸術系大学長と文化庁長官との懇談会」を平成一六年七月一二日および一二月二六日に開催した（一二月二六日は金沢美術工芸大学との共催）。

この会議は、文化庁が芸術系全般の大学等の高等教育機関との連携を深めていくために、芸術系の学部・大学院のみを有する大学の学長等と、文化庁長官をはじめとする文化庁幹部による意見交換を行うものであり、芸術系大学長と文化庁長官が一堂に会して意見交換を行ったのは初めてのことである。

七月一二日（第一回）は、丸の内東京會館で開催され、河合隼雄文化庁長官の挨拶に始まり、文化庁および文部科学省高等教育局の関係施策について説明が行われた。また、各大学長からは、大学における特色ある教育や研究に加え、子どもを対象とした取組や地域貢献、国際交流、大学間連携などの先進的な取組について紹介があるとともに、我が国の芸術家の多くが芸術系大学の教官となっている現状や、大学としても人材育成、研究以外



懇談会の開催風景

の演奏会、展覧会をはじめ、さまざまな文化芸術関係の活動を行っており、我が国の文化芸術振興の観点から、大学と文化庁が連携協力を深めていくことが必要との意見が出された。その後、加茂川文化庁次長の閉会挨拶の後、会場を移してレセプションが行われた。

一二月二六日（第二回）は、第一回の意見交換を踏まえ、まず最初に文化庁および文部科学省高等教育局における最近の取組について説明が行われた。その後、「高等教育機関である大学において芸術家を育成することの現状と課題」「芸術家の育成という観点からの芸術団体との連携・協力の在り方」「芸術系大学として、芸術家の育成の観点から、文化行政に対して期待すること」の三つの観点から、金沢美術工芸大学、東京音楽大学、宝塚造形芸術大学から発表が行われ、その後の意見交換では、語学力の必要性や、アートマネジメント

トの充実、芸術家の育成のための文化庁と文部科学省の一層の連携の必要等、人材育成に関わるさまざまな意見が交わされた。

懇談会終了後、本年一〇月に開館した「金沢21世紀美術館」を訪れ、多くの市民ボランティアが施設の案内や管理に参画している様子や、無料スペースを活用した市民の憩いの場などの視察を行った。

本懇談会については、大学関係者からも、引き続きこのような一堂に会することのできる会を開催してほしいという要望があり、今後ともさまざまな形で意見交換会や施策説明会などを開催する予定である。

（その他の実施した文化庁と大学との連携にかかる取組）

●五月二一日…映画・メディア芸術に関する  
会合

映画・メディア芸術分野の人材育成や研究活動を行っている大学・高等専門学校の方々を対象に、関係省庁からの施策説明や、大学関係者によるパネルディスカッションを実施。

●一二月二九日…文化政策に関する大学等と  
文化庁の意見交換会

文化芸術政策に関して、文化行政と高等教育機関における研究の現状について情報交換を行い、適切な施策の立案等に資するため、文化庁と文化政策に関する教育・研究活動を行っている大学との意見交換会を開催。